



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月1日

上場会社名 ローム株式会社
コード番号 6963 URL <http://www.rohm.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 澤村 諭

問合せ先責任者 (役職名) 経理本部 統括部長 (氏名) 上原 邦生

TEL 075-311-2121

四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	96,418	15.9	12,427	80.1	13,023		10,216	400.0
29年3月期第1四半期	83,204	12.3	6,900	40.3	509	96.8	2,043	82.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 14,247百万円 (%) 29年3月期第1四半期 27,453百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	96.59	
29年3月期第1四半期	19.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	842,991	731,235	86.7
29年3月期	834,503	725,452	86.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 730,766百万円 29年3月期 724,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		50.00		80.00	130.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		120.00		120.00	240.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期第2四半期末配当金(予想)の内訳 普通配当 65円00銭 記念配当 55円00銭

30年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 65円00銭 記念配当 55円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	187,000	8.8	20,000	26.7	19,000	130.4	14,500	78.1	137.08
通期	368,000	4.5	38,000	19.4	38,500	8.2	28,000	5.9	264.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	111,200,000 株	29年3月期	111,200,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	5,424,894 株	29年3月期	5,424,815 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	105,775,156 株	29年3月期1Q	105,776,230 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

※ 補足説明資料としまして、「2018年3月期 第1四半期決算概要」を別途添付しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

業績の全般的概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米経済が堅調に推移したことに加え、日本経済も回復基調を維持したことや、中国経済に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復傾向となりました。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車関連市場につきましては、アメリカで減速感が見られましたが、欧州や日本で好調に推移したことに加えて、引き続きエレクトロニクス製品の実装率が向上したことなどから堅調に推移しました。産業機器関連市場につきましては、中国市場の回復などに支えられ好調に推移しました。民生機器関連市場につきましては、スマートフォンは調整局面となりましたが、ゲーム機が好調に推移し、また家電製品についても堅調に推移しました。

このような経営環境の中、ロームグループにおきましては従来に引き続き中長期的に成長が期待される自動車関連市場や産業機器関連市場、IoT関連市場などへの製品ラインアップ強化や、海外系顧客への販売強化を進めました。また、①アナログソリューション、②パワーソリューション、③センサソリューション、④モバイルソリューションを「4つのソリューション」と位置づけ、新製品・新技術の開発と、それらを組み合わせたソリューション提案の強化に努めました。また、RPS（Rohm Production System）活動（※1）を継続して推進したほか、先進の品質管理体制の構築と「Zero Defect（不良ゼロ）」の実現に向けての技術開発に取り組むなど、「生産革新」を推し進めました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は964億1千8百万円（前年同期比15.9%増）となり、営業利益は124億2千7百万円（前年同期比80.1%増）となりました。

経常利益につきましては、130億2千3百万円（前年同期は経常利益5億9百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は102億1千6百万円（前年同期比400.0%増）となりました。

※ 1. RPS（Rohm Production System）活動

ロームグループの各生産拠点で進めている生産改善活動で、より高品質なモノづくりを進めるとともにリードタイムの短縮や在庫などあらゆるムダを徹底的に排除する活動。段違い（ダントツ）の高効率、高品質生産体制を構築することで利益体質の強化を図る。

業績のセグメント別概況

<LSI>

当第1四半期連結累計期間の売上高は447億7千7百万円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は42億4千3百万円（前年同期比105.9%増）となりました。

自動車関連市場では、ハイブリッドカー向けのパワートレイン用絶縁ゲートドライバIC（※2）、カーボディやインストルメント・パネル、カーナビゲーション向けの電源IC、LEDドライバICなどの採用が幅広く進んだことにより売上は堅調に推移しました。

産業機器関連市場向けでは、FA・計測器関連やHEMS・BEMS（※3）関連向けの電源ICなどが順調に推移しました。

民生機器関連市場では、スマートフォン向けのカラーセンサなどが調整局面となった一方で、ゲーム機や家電向けの電源ICやUSB Power Delivery Type-C（※4）コントローラICが売上を伸ばし、またPC向けの電源ICの売上も回復傾向となりました。

グループ会社のラピスセミコンダクタ株式会社については、ゲーム向けのメモリの売上が好調に推移しました。

※ 2. 絶縁ゲートドライバIC

ゲートドライバICは、IGBT（※5）などのパワー半導体を駆動させるためのICで、絶縁素子を内蔵することにより人体・システム保護に必須の絶縁用外付け部品を不要にした。

※ 3. HEMS・BEMS

HEMS（Home Energy Management System）は家庭内のエネルギー管理システムのこと、BEMS（Building Energy Management System）はビル内のエネルギー管理システムのこと。

住宅向け、商用ビル向けとそれぞれ管理対象は異なるものの、ともにセンサやITの技術を活用して、電力メータや太陽光発電機、蓄電器、家電等の機器をネットワークで繋ぎ、電力使用量の可視化、節電のための機器制御を行うシステム。

- ※ 4. USB Power Delivery Type-C
USB Power Deliveryとは、USBケーブルを利用して最大100Wまでの受給電を可能にするUSB電力拡張規格。ノートPCなど従来のUSB給電では駆動することができなかった機器への給電、モバイル機器の充電時間の短縮が可能になる。
- ※ 5. IGBT（Insulated Gate Bipolar Transistor＝絶縁ゲートバイポーラトランジスタ）
MOSFET（※6）とバイポーラトランジスタ（※7）の長所を生かしたパワー半導体で、電力制御の用途で使用される。
- ※ 6. MOSFET（Metal Oxide Semiconductor Field Effect Transistorの略）
電界効果トランジスタの一種でバイポーラトランジスタと比較して、低消費電力や高速スイッチングが可能で、各種電子機器に幅広く使われている。
- ※ 7. バイポーラトランジスタ
N型とP型の半導体がP-N-PまたはN-P-Nの接合構造を持つ3端子の半導体で、電流増幅・スイッチング機能を持つ。

<半導体素子>

当第1四半期連結累計期間の売上高は363億9千3百万円（前年同期比16.7%増）、セグメント利益は69億2千6百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

トランジスタにつきましては、各種電源向けのパワーMOSFETや、スマートフォンやゲーム機向けなどの小信号トランジスタが順調に売上を伸ばしました。ダイオードにつきましては、自動車関連市場向けが好調に推移しました。パワーデバイスにつきましては、太陽光発電など向けにSiCデバイスが売上を伸ばしました。また、発光ダイオードについてはアミューズメント関連向けの売上が減少しましたが、その他の民生機器関連市場向けは売上が堅調に推移しました。半導体レーザについては、レーザプリンタ向けなどで売上が増加しました。

<モジュール>

当第1四半期連結累計期間の売上高は99億7千5百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は9億8千9百万円（前年同期比548.6%増）となりました。

プリントヘッドにつきましては、FAX向けなどで低迷が続きましたが、決済端末やラベルプリンタ向けなどが堅調に推移しました。

オプティカルモジュールにつきましては、スマートフォン向けのセンサモジュールが大きく売上を伸ばしました。

<その他>

当第1四半期連結累計期間の売上高は52億7千2百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益は7億1千万円（前年同期比109.1%増）となりました。

抵抗器につきましては、自動車関連市場向けが牽引し、売上は堅調に推移しました。タンタルコンデンサについては、スマートフォン向けで売上が減少しました。

また、前期にLED照明事業から撤退した影響も受けました。

なお、上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ84億8千8百万円増加し、8,429億9千1百万円となりました。主な要因といたしましては、有価証券が140億5千3百万円減少した一方、現金及び預金が108億9千8百万円、受取手形及び売掛金が60億9千4百万円、投資有価証券が60億8百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ27億4百万円増加し、1,117億5千5百万円となりました。主な要因といたしましては、流動負債のその他が30億8千万円（うち、設備関係電子記録債務が27億8千9百万円）増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ57億8千3百万円増加し、7,312億3千5百万円となりました。主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が22億8千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により株主資本が17億5千3百万円、為替換算調整勘定が15億3千7百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.9%から86.7%に低下しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期の業績予想に対する第1四半期の進捗状況は、自動車関連市場や産業機器関連市場など向けの売上が堅調に推移したこと、為替レートが想定より円安傾向で推移したこと、RPS活動等によるコスト削減が進んだことなどにより、現時点までは概ね期初の想定を上回って推移しました。しかしながら、第2四半期の市場動向や為替動向については、変動の可能性があり予測が難しいことから、今回は期初の予想を変更しておりません。今後の動向により変更が必要と判断される場合には改めて公表を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	264,916	275,814
受取手形及び売掛金	76,700	82,794
電子記録債権	5,132	4,920
有価証券	42,582	28,529
商品及び製品	23,197	22,172
仕掛品	38,699	39,335
原材料及び貯蔵品	24,800	25,688
繰延税金資産	9,047	8,575
未収還付法人税等	1,137	321
その他	10,285	9,623
貸倒引当金	△541	△546
流動資産合計	495,958	497,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	230,987	231,659
機械装置及び運搬具	516,448	520,179
工具、器具及び備品	47,668	47,685
土地	66,961	66,881
建設仮勘定	14,676	16,437
減価償却累計額	△645,472	△651,836
有形固定資産合計	231,270	231,006
無形固定資産		
のれん	5,355	5,247
その他	5,157	6,591
無形固定資産合計	10,513	11,839
投資その他の資産		
投資有価証券	81,084	87,092
退職給付に係る資産	1,435	1,526
繰延税金資産	2,685	2,610
その他	11,961	12,108
貸倒引当金	△406	△423
投資その他の資産合計	96,760	102,915
固定資産合計	338,545	345,761
資産合計	834,503	842,991

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,193	13,053
電子記録債務	8,657	8,995
未払金	22,382	20,242
未払法人税等	3,790	1,861
繰延税金負債	2	-
事業整理損失引当金	224	215
その他	21,798	24,878
流動負債合計	69,050	69,246
固定負債		
繰延税金負債	28,195	29,194
退職給付に係る負債	10,693	10,989
その他	1,111	2,324
固定負債合計	40,001	42,509
負債合計	109,051	111,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,403	102,403
利益剰余金	604,057	605,811
自己株式	△47,777	△47,778
株主資本合計	745,653	747,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,438	27,726
為替換算調整勘定	△40,942	△39,405
退職給付に係る調整累計額	△5,163	△4,961
その他の包括利益累計額合計	△20,667	△16,640
非支配株主持分	466	469
純資産合計	725,452	731,235
負債純資産合計	834,503	842,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	83,204	96,418
売上原価	55,071	62,527
売上総利益	28,133	33,890
販売費及び一般管理費	21,232	21,463
営業利益	6,900	12,427
営業外収益		
受取利息	499	628
受取配当金	381	399
その他	194	342
営業外収益合計	1,075	1,371
営業外費用		
為替差損	7,284	721
その他	180	53
営業外費用合計	7,465	775
経常利益	509	13,023
特別利益		
固定資産売却益	6	73
投資有価証券売却益	61	-
特別利益合計	68	73
特別損失		
固定資産売却損	32	27
固定資産廃棄損	9	119
投資有価証券評価損	6	-
事業整理損	228	-
事業整理損失引当金繰入額	53	-
特別損失合計	330	147
税金等調整前四半期純利益	247	12,949
法人税、住民税及び事業税	511	2,192
法人税等調整額	△2,301	534
法人税等合計	△1,789	2,727
四半期純利益	2,037	10,222
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,043	10,216

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,037	10,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,688	2,288
為替換算調整勘定	△27,059	1,535
退職給付に係る調整額	256	201
その他の包括利益合計	△29,491	4,025
四半期包括利益	△27,453	14,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,409	14,242
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	37,726	31,191	8,703	77,621	5,582	83,204	—	83,204
セグメント間の内部 売上高又は振替高	743	1,238	4	1,987	43	2,031	△2,031	—
計	38,470	32,430	8,708	79,609	5,626	85,235	△2,031	83,204
セグメント利益	2,060	5,455	152	7,669	339	8,008	△1,108	6,900

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業、ライティング（照明）事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,108百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△924百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）△183百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュ ール	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	44,777	36,393	9,975	91,146	5,272	96,418	—	96,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	796	1,904	20	2,721	12	2,734	△2,734	—
計	45,574	38,298	9,995	93,868	5,284	99,153	△2,734	96,418
セグメント利益	4,243	6,926	989	12,159	710	12,869	△442	12,427

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△442百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△258百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）△183百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ローム株式会社 2018年3月期 第1四半期決算概要

(2017年4月1日から2017年6月30日まで)

2017年8月1日

連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

		18/3期実績		17/3期実績		対前年同期増減		17/3期実績		18/3期計画 (注)1		
		第1四半期 累計期間	第1四半期 累計期間	第1四半期 累計期間	第1四半期 累計期間	額	率	通期	通期	対前期 増減率	第2四半期 累計期間	対前年同期 増減率
売上高	百万円	96,418	83,204	+13,214	+15.9%	352,010	368,000	+4.5%	187,000	+8.8%		
売上原価	百万円	62,527	55,071	+7,456	+13.5%	234,967	240,000		121,600			
販売費及び一般管理費	百万円	21,463	21,232	+231	+1.1%	85,215	90,000		45,400			
営業利益	百万円	12,427	6,900	+5,527	+80.1%	31,827	38,000	+19.4%	20,000	+26.7%		
		(12.9%)	(8.3%)	(+4.6%)		(9.0%)	(10.3%)		(10.7%)			
経常利益	百万円	13,023	509	+12,514	—	35,579	38,500	+8.2%	19,000	+130.4%		
		(13.5%)	(0.6%)	(+12.9%)		(10.1%)	(10.5%)		(10.2%)			
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	10,216	2,043	+8,173	+400.0%	26,432	28,000	+5.9%	14,500	+78.1%		
		(10.6%)	(2.5%)	(+8.1%)		(7.5%)	(7.6%)		(7.8%)			

()内は売上高比率

1株当たり四半期(当期)純利益	円	96.59	19.32	+77.27	+399.9%	249.88	264.71		137.08	
自己資本当期純利益率	%					3.7				
総資産当期純利益率	%					3.2				
1株当たり純資産	円	6,908.68	6,348.21	+560.47	+8.8%	6,854.01				
E B I T D A (注)2	百万円	22,197	16,141	+6,056	+37.5%	72,628				
設備投資額	百万円	10,595	8,711	+1,884	+21.6%	42,182	57,000	+35.1%	33,700	+119.2%
減価償却額	百万円	9,770	9,240	+530	+5.7%	40,801	48,000	+17.6%	21,500	+15.3%
研究開発費	百万円	9,463	9,335	+128	+1.4%	37,277	41,000	+10.0%	20,500	+12.3%
グループ従業員数	人	22,554	21,185	+1,369	+6.5%	21,308				

為替レート(US\$期中平均レート) 円/US\$ 111.61 109.07 +2.54 +2.3% 109.03 105.00 105.00

(注)1.計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

問合せ先 〒 615-8585 京都市右京区西院溝崎町 21番地 (075)311-2121
ローム株式会社 広報IR室